

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|-----------|--|--|
| 1 施設名 | 仙台市上野山児童館 | |
| 2 指定管理者 | 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 | |
| 3 指定期間 | 令和4年4月1日～令和9年3月31日 | |
| 4 施設の利用状況 | 《利用者数》 ・令和5年度 26,745人(前年度比 115.0%) ・令和4年度 23,253人 ・令和3年度 18,921人 | |
| | 《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業 | |
| 5 収支の状況 | 《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 41,850千円 (36,393千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) | |
| | 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) | |
| 6 利用者の声 | 《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。 | |

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | 33/33 |
| II 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館児童クラブサテライトの避難訓練等の実施回数が、放課後児童クラブ運営指針で定められている回数(年2回以上)を満たさなかった。 | 29/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | 24/24 |
| IV サービスの質の向上 | 名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | 児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、様々な地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 | 18/18 |

三 評価総括

| 《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》 |
|---|
| <p>「安心安全でみんなが笑顔に！」を館のスローガンに子どもたちも保護者も地域の皆さんも笑顔で過ごせる児童館を目指して様々な活動を行ってきました。</p> <p>児童クラブ事業では、異年齢での集団遊びを重視して、体力の向上に努めるとともに社会性や思いやりの心が育つよう配慮してきました。また、子ども会議（係活動）では、「あそび係」がアンケートを取って遊びを計画したり、マンガ係がマンガをかいて皆を楽しませたりするなど主体的な活動ができました。</p> <p>子育て家庭支援事業では、「すくすくタイム」のハロウィンやクリスマスなど季節イベントを中心に親子の触れ合いと参加者同士の交流が深まっています。また、大型遊具で遊ぶ「スポーツタイム」や普段とは異なるおもちゃで遊ぶ「プラレール&おまごどタイム」を定期的に設定することで、それを楽しみに来館される方も増えています。</p> <p>地域交流推進事業では、「児童館まつり」に代わる行事として「あそびのひろば」を開催しました。来場者が遊びを楽しむだけでなく、小中学生や大学生、保護者のボランティアが活躍し様々な世代の交流の場となりました。また、地域の関係団体の協力による出店も複数設置し、連携を更に深めることができました。</p> <p>児童健全育成事業として取り組んでいる和太鼓飛竜の会は、発足から7年目を迎え、児童館の行事だけでなく、町内会や市民センターをはじめ様々な施設や団体の行事で演奏を披露しました。演奏を聴いた方からは「力強い太鼓の響きに感動しました。」「これからもすばらしい演奏を聴かせてください。」などの感想が寄せられ会員の励みになっています。</p> <p>これからも様々な取り組みを工夫しながら地域に根差した活動を続け、利用者の皆様が笑顔になれる児童館を目指して運営してまいります。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|--|------|
| <p>児童健全育成事業においては、継続して実施している和太鼓「飛竜の会」に小学生から高校生まで幅広い年齢の子ども達が参加しており、異年齢による集団活動を通して社会性や主体性を育み、達成感や自己肯定感を得る機会に繋がっている。また毎月実施している「オセロ王決定戦」は子ども達の日常の成果を発揮する場となっており、多くの児童が意欲的に参加し遊びを通して子どもの主体性や考える力を育てている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、スポーツタイムやプラレールタイム等、子ども達が好きな遊びを選んで楽しめるよう曜日を決めて実施したことで、来館者のリピーター増加につながった。また、保護者同士が情報共有や仲間作りをするための交流の場にもなっている。子育て講座「くもはれ会」は子育てや子どもの発達に不安を抱いている保護者が定期的に交流している。学区外に住んでいる保護者も参加するなど、地域の子育て支援の場としての役割を果たしている。</p> <p>地域交流推進事業においては、「かたりべの会」や「お話のへや」「短歌作り」「防犯教室」など、地域の方を講師に迎えて多彩な事業を開催した。地域の方々や関係団体との交流を深め、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに取り組んでいる。「中学生とあそび」では工作や運動遊びなどを通して地域の中学生と小学生が交流し、児童館事業の認知度向上に努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、「子ども会議」や「子ども企画会議」で子どもの意見を反映させる機会を設け、子ども達が行事の企画から運営まで関わるように工夫したり、ゲーム係やまんが係など子ども達自らが考えた係活動に取り組み、異年齢の子どもが関わりながら、子どもの発達段階に応じた主体的な生活や遊びが可能となるように環境を整えている。</p> | A |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
| |

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課